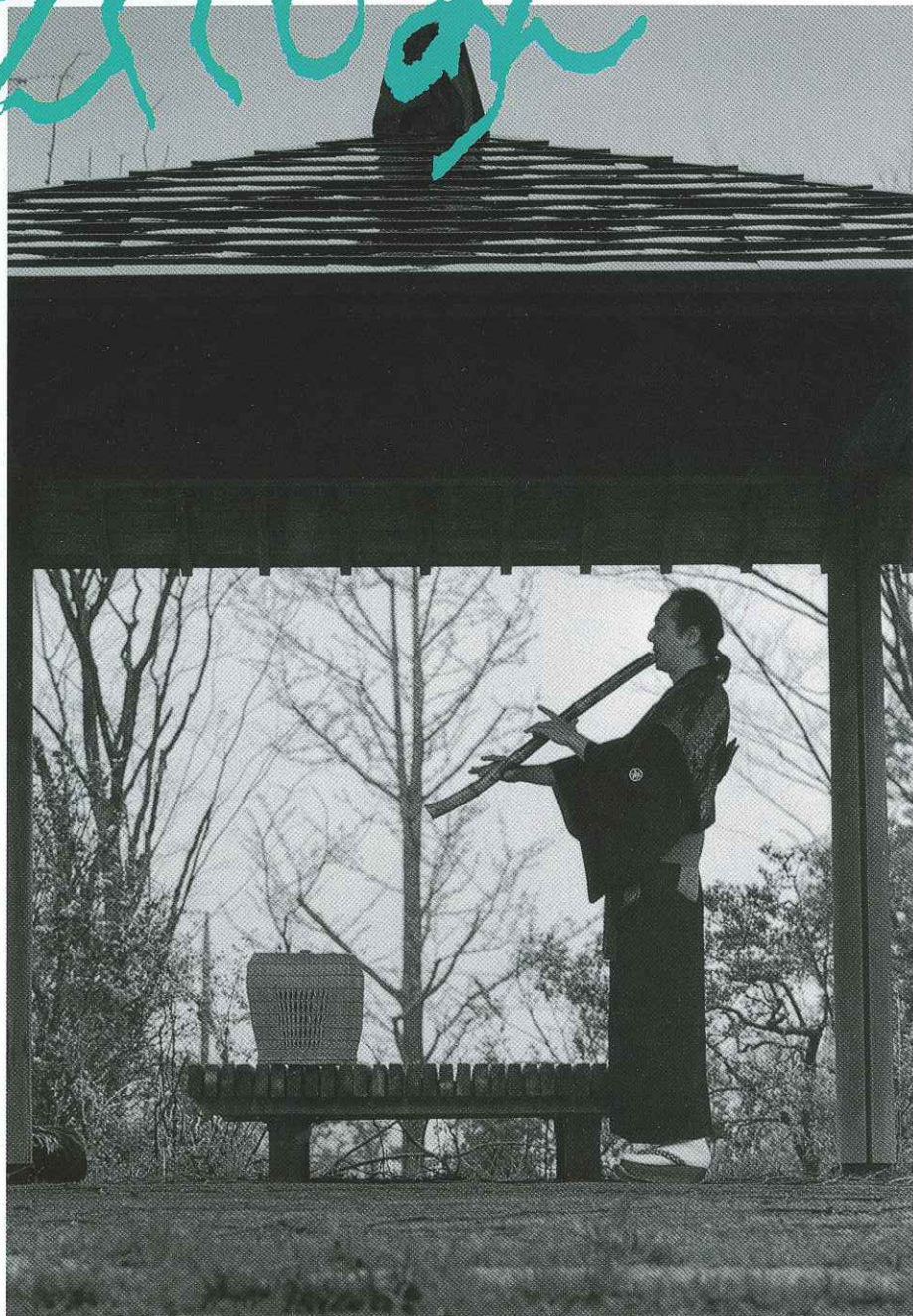


# えびぞん

6

立川と語ろう 立川に生きよう  
June 2008  
écoutez bien Vol.26 No.283



表紙の人／彈真空(泉町) 写真／細江英公





ここがタチカワ！  
ここも立川！ ⑪

# 国立音楽大学 (柏町)



立川唯一の大学といえば、国立音楽大学。国立というから国立市にあるのだろうかというのは、もう30年も前の話。立川市柏町、西武線沿線に移った当初は、JR立川駅からはバスだけが通学手段。キャンパス内にも乗り入れていたという。モノレールができてからは、玉川上水駅から徒歩8分。便利になった。

花と緑いっぱいのキャンパスには池があり、カモのつがいのがんびり暮らしている。いろいろな楽器の音が聞こえてくるのは、やはり音大ならではの。キャンパスをずっと奥まで歩いていくと、図書館の建物に併設されている楽器学資料館がある。世界中から集ってきた楽器を収蔵、そのうち約1100点を一般公開している。種類、年代、地域とあらゆる角度から楽器を見つめることのできる資料館だ。グルッと見て回るとあらためて楽器の美しさに感動する。試奏コーナーもある。音をだしてみるとその楽器のおもしろさがグッと深まり、たちまち魅了されてしまう。音を音楽にする歴史、楽器に施された絵柄や彫刻、信仰との関わりなど、楽器学資料館には人類の文化が詰まっている。

音大ならではの施設はやはり講堂。学校行事に使われる以外に一般公開されている演奏会や公開レッスンも多い。座席数1290の大ホールと500席の小ホールがあり、大ホールにあるパイプオルガンは荘厳だ。昔ピアノが家具だったのなら、パイプオルガンは建物だった？ この日に演奏されたのは、楽器学資料館で見た青いチェンバロとパイプオルガンの共演。ホール中に満ちるオルガンの音。演奏はやっぱり生で聴くのがいい。

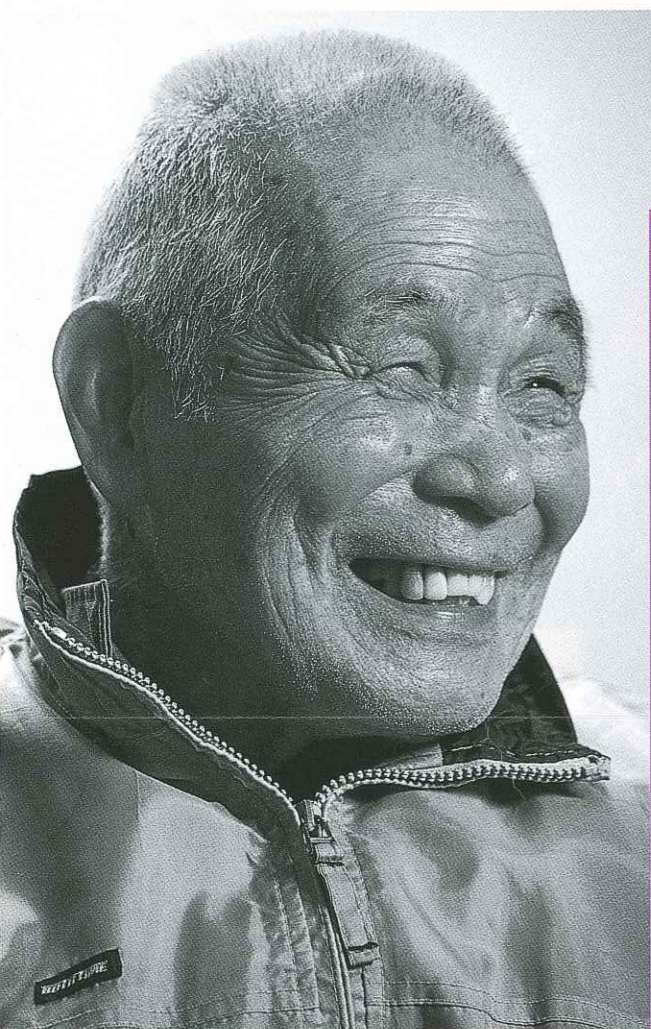




# 商店街の再生は大変なことだよ

明星大学大学院経済学研究科2年

## 原田 義道さん



於：えくてびあん編集工房（曙町） 写真：五来孝平

■原田義道（はらだ よしみち）一九一九年生まれ。今年9月には89歳になる。岐阜の尋常高等小学校を卒業。経済的事情で進学せず、家業の材木仲介業を手伝い、日中戦争で徴兵され、第二次世界大戦でまた召集。サイパンへ赴く途中八丈島で終戦を迎えた。一九五八年に上京して建設会社に就職、76歳で退職し「若いころできなかった勉強をしたい」と八王子市立第五中学の夜間学級に入学。その後、都立立川高校の定時制課程を経て83歳で明星大学の推薦入試に合格した。現在は地域経済に関する修士論文に没頭する毎日過ごしている。

■清水恵美子（しみず えみこ）／えくてびあん編集工房

清水 原田さん、「経済セミナー」って専門雑誌の取材を受けて記事が載ったんですね。かっこいい！

原田 このページね。この先生と話したんだよ。

清水 原田さんて眼鏡かけないの？ 老眼じゃない？

原田 うん、老眼じゃない。

清水 え〜！ 信じられない！

原田 昔、近眼だったんだよ。すごくいい眼鏡かけてたんだけどね。亀甲だったんだよ。それを落っこしちゃってね、それで眼鏡かけるのやめちゃったの。そうしたら近眼も治っちゃった。

清水 そんな話あるのお？

原田 うん。あるの。

清水 う〜ん……。原田さんとはよく立

川の街や商店街のこと、お話しますよね。いま、修士論文でそのことを書いてらっしゃるんでしょう？

原田 羽衣町を中心に書いてるんだけどさ。先生に聞いてもこういうことは先生も経験したことがないから、とにかくこの問題は原田さんに任せるといふんだよ。任されてもなあ。いや、まいったよ〜（笑）。

清水 責任重大じゃない！ 立川の商店街の救世主にならなくちゃ。先生だって原田さんより若いんでしょ？ いま、立川の街をつくっている人たちだって原田さんより若い。みんながんばって街づくりをしているのでしょけれど、ずっと生きてきた原田さんから見て、どうなのかしら？

原田 どうか……。大変なことだよ、これ。羽衣町はまだいい方だけど、シャッターばかりになっちゃった商店街もあるよな。さっぱり人が通らなくなっちゃったな。

清水 逆に昔はなんで人が通っていたのかしら？

原田 そら、お店がずらっと並んでいて、なんでも揃っていたから。高松町なんて、あそこまで行けば何でも買えたからね。

清水 じゃ、なんでお店やめちゃうのかしら？ 人が通らないから？

原田 人が通らないんじゃないかって、売れないからさ。売れないからやめちゃうんだよ。

清水 原田さんが小さい頃も、日本は大変だったんでしょ？

原田 そう。小学生の頃だったな。あの時は大変だった。昭和大恐慌だ。

清水 そんなに大変だったんですか？

原田 た〜いへん、大変。だってさ、大学卒業したって勤めるところないんだから。みんなルンペンだよ。大学卒業してルンペン。銀行やなんかみんな潰れちゃってさ。ある時おやじがね、「義道、おまえの家庭教師だ」って早稲田の理工を出たのを連れてきて。どのくらい面倒見たかなあ、仕事を探してやってさ。牛肉の配達の仕事を見つけてやったの。1年や1年半くらい、そこでご用聞きをやってたかなあ。

清水 原田さんちは裕福だったんですね、人の面倒までみて。

原田 そう思うでしょ？ それが違うんだよ。おやじはさ、なんていうのかなあ、金を借りても人の面倒を見るっていう人だったんだよ。

清水 へえ。人がいい？

原田 わかんないけど。私はさ、建設会社に就職して、親父が死んだ時に岐阜の家を処分してね。財産は全部弟や

妹にその場で分けちゃった。で、自分は何にも持たないで東京に来て、それからいままできたんだよな。なにしろ小学校しか出てないでしょ。いろいろ教えてもらいながら勉強しましたよ。あの頃はまだ景気のいい頃だったから、近くの女子大の学生がよくうちへ遊びに来てたね。いろいろ面倒みたよ。その子たちがいま、いくつだ、40いくつかになってるのかな？ 中学校終わるくらいの子もがいますから、そのくらいだよ。先日も遊びに来ただけだよ。

清水 どうでした？

原田 私さあ、40もいくつになったら、変わってるかと思ったんだよ。こんなに太っちゃてるんじゃないかなと思ってた。来たら、スラッとしてんじゃないの！ お前、飯食ってんのかって心配しちゃったよ。あんまりスタイルがいいから。そういや、私の孫も38かな、スラッとしてただけど。

清水 ええ。

原田 あれだよな、でも、他の孫はやっぱり40代になったばかりだけど、太ってるもんなあ。

清水 原田さんてそんなこと気にしてたんですか。気にしてないかと思った。今の人はみんなきれいにしていますよ。若いし。

原田 若いよな〜。みんなきれいだよな〜。

清水 今日は立川の商店街の話を書きたかったのに、女の人の話になっちゃった（笑）。女の人の話は、もうおしまい。大学では学食に行ってお飯食べるんですか？

原田 カレーが好きだからさ。カレーライスを食べる。この間ね、大学院生ばかりの

会食があったの。その時に出た焼きそばがうまかったなあ。あんなうまい焼きそばは食べたことがないね。ほんとにうまかった。

清水 いつも学食にあるメニューじゃないんですか？

原田 ない。その日のために特別に作ったんだね。あの焼きそばを食べた時ね、ああ、女房に食わしてやりたかったなあって思ったね……。

清水 そうですか……。奥様は早く亡くなられたから。原田さんは、いつも自分じゃなくて、他の人のことを考えてるんですね。

原田 そうお？

清水 やっぱお父さんと似てるんじゃない。

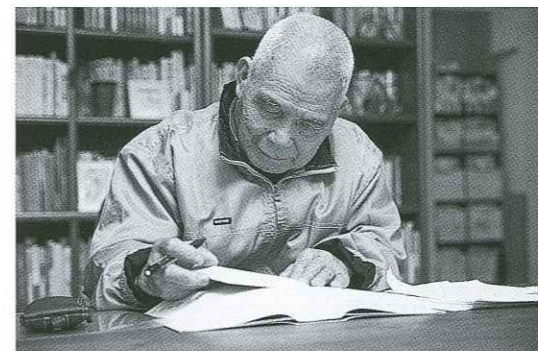
原田 そうかもしれないな（笑）。

清水 そうやって他人の面倒を見てきたから、こんなに元気で暮らせるのかもしれないね。

原田 そうかもしれないな。

清水 それで、結局、修士論文の結論はどこへ持っていくんですか？

原田 それが困っちゃってるんだよ。持っていきようがなくて。ウロウロ、ウロウロしてるんだ。弱っちゃったよな〜。先生もさ、原田さんに任せると言うんだけど、任されたって困っちゃうんだよ（笑）。



額縁専門店 プリムベール	528-6789
多摩信用金庫 東立川支店	524-0611
Cake Studio 35	527-6808
林 歯科	522-5657
中島豆腐店	522-5732
フレッシュフルーツ立川商店	522-3565
化粧品 OZAWA	522-3749
本・事務用品 泰明堂	522-3353
文具の ないとう	522-3677
テラー 安武	522-4820
西友 西国立店	524-5101
赤松タバコ店	524-7852
まごころ銘茶 狭山園	527-0146
美容室 ヒロイン紅	526-0018
蕎麦処 かめ井	524-8101
お好み焼きともんじゃ焼 こけし	526-1267
めがね・つけい・補聴器 カワハラ	525-4427
鳥料理 くし秀	522-7692
御菓子司 やな瀬	522-3969
宮地楽器 MUSIC JOY 立川南	526-1779

えくてびあんの輪  
立川と語ろう 立川に生きよう  
えくてびあんは  
リストのお店にいつもあります  
今月は 羽衣町・錦町のお店です。

中国料理 五十番	522-7472
手づくり味噌の材料専門店 北島こうじ店	524-3190
new gyoza1059 餃子天国	526-2283
イタリアンダイニング asa	529-5668
ワインバー バルアラディ	523-3917
テーブルウェア H.works	521-2721
CAFE SOMMEILLER	527-1440
手うち蕎麦 なかさと	524-5758
中国気功整体院 立川院	529-1088
焼きたてパンの店 ヴァイツェンプロト	527-2176
日本クッキングスクール	522-3440
立川 錦 郵便局	523-2005
ザ・クレストホテル立川	521-1111
美容室 アリス	525-1100
パンと洋菓子 うちのやブルマン	524-9280
そば処 そば菜	522-7558
Cafe Cima Coppi	533-5266
画廊 無門庵ギャラリー	529-2323
駄菓子・ファンシー むぎざたけ	526-0210
美容室 FALCO	528-2389



# すべての19歳のために

## 時空を超えて描き続ける画家 奥井 理 (Migaku Okui)

2008年5月26日から6月8日まで、オリオン書房ノルテ店ラウンジで、奥井 理 画文集『地球人生はすばらしい』出版記念作品展が開催される。豊富な色、さまざまな形、溢れ出る言葉が〈MIGAKU world〉を創り出す。多感な19歳。命を讃え、愛を詩い、自分にぶつかり苦悩する。生きることのすばらしさを伝えたい。会場に並ぶ作品は、すべての青年へ訴える。〈生まれてきて、本当に良かった。〉

写真：小林達実 撮影協力：立川美術学院 / オリオン書房ノルテ店



〔生きる〕

奥井 理。札幌生まれ。19歳。  
高校在学中に画家になることを志す。  
美大受験のために上京。  
立川美術学院で再度基礎から学びなおす。

自分との格闘。

〈人生七転び八起き、負けてたまるか。  
意味のない人生なんて何も価値はない。〉

〈見えない自分を見ようとするれば  
傷つくことが多い。  
忘れないことの方が多い。  
それを  
目の前につきとめることにより自分が見えてくる。  
他者との比較で自分を見る。  
だから  
自画像とは 自分が見て、  
やってきたことを振り返ることだろう。  
自分がなにに興味を持ち  
努力しているのか  
自分が何を考え、何に怯えてここまで甘えてきたのか。〉

生きることへの限りない意欲。

〈オレはオレでしかないんだ。  
たった一度だけ オレでいれる時間、  
限られた時間の中でオレは生きたい。〉

めざす芸術と自己との狭間で模索する。

他人への思い。

〈人に優しさを求めてはいけない。  
自分が人に優しくしないとけない。〉

〈つらくない人生などない。  
つらくない勉強などない。  
つらくない絵などない。〉

そして……。理は大空へ旅立った。  
新しい超時空の世界で生きるために。こんなメッセージを遺して。

〈地球人生は 本当にすばらしい。〉  
〈生まれてきて 本当に良かった。〉

1995年7月。大好きだった立川の地。奥井 理 逝去。交通事故だった。



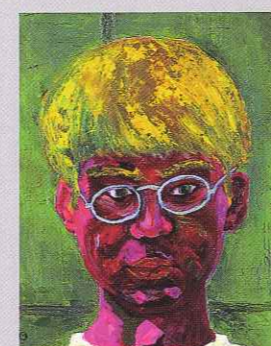
〔静物〕



〔自画像〕



〔命〕



〔自画像〕



〔道〕



〔静物〕

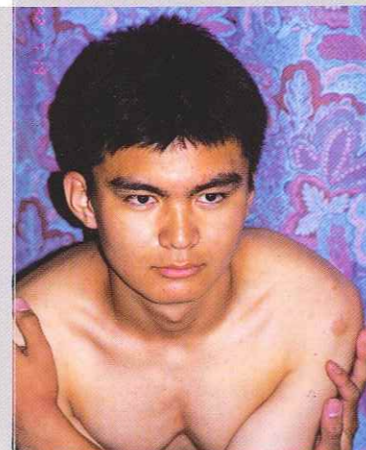
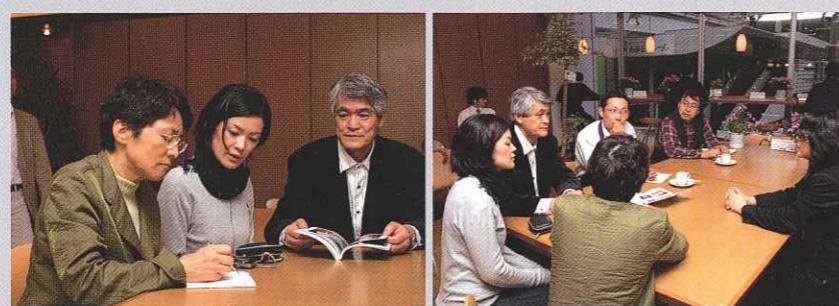


〔叫び〕



奥井 理 画文集  
『地球人生はすばらしい』  
求龍堂  
1800円

オリオン書房ノルテ店にて。  
ご家族と関係者による  
作品展打ち合わせの様子





立川の話 いっぱい！  
わたしとあなたとたちかわを  
結ぶ街ナビネット  
多摩てばこnet  
T a m a t e b a k o  
www.tamatebako-net.ne.jp  
立川市曙町3-4-3  
武藤ビル2F  
TEL/042-548-9606

常楽我浄  
真如苑提供番組くじようらくがじよう  
スカパーフェクTV 216ch  
マイ・テレビ 11ch  
放送時間については番組表をご確認ください。  
立川に育てられて七十二年  
真如苑  
柴崎町1-2-13 Tel.527-0111(代)  
www.shinnyo-en.or.jp

雑誌・書籍・地図・政府刊行物・教科書・文房具・事務機  
オリオン書房  
■ルミネ店 (立川ルミネ7F) TEL 042-527-2311  
■ノルテ店 (パークアベニュー3F) TEL 042-522-1231  
■サザン店 (グランデュオ下サザン2F) TEL 042-525-3111  
■アレア店 (アレアア2・3F) TEL 042-521-2211  
■立川北口店 (第一デパート3F) TEL 042-523-3311  
http://www.orionshobo.com

大廣社は今、「知的集約」型企業を実践しています。  
伝達を使命とする情報産業の一翼を担う大廣社は、  
新しい時代の新しい表現を責任持って拓くために、  
クリエイティブから最終製品にいたるまでの一貫体制を  
構築しています。  
先進のシステムと最新技術との融合  
株式会社 大廣社  
〒190-0022 東京都立川市曙町5-17-13  
Tel. 042-527-1911  
Fax. 042-527-1949  
E-mail info@daikousya.jp  
http://www.daikousya.jp/index.html

えくてびあん流

東京賢治の学校  
スイス公演報告会

柴崎町「東京賢治の学校」の生徒たちが3月、世界中から4校が招かれるシュタイナー教育教員世界大会(スイス・ドルナッハ)で、同校が授業で取り組んでいる能、民俗芸能の「中野七頭舞(ななずまい)」の公演を行い4月12日、報告会が行われた。生徒35人をはじめ総勢44人が世界大会参加だけでなく、イタリアでルネサンス美術と歴史の学習、フランスを経てドイツでも公演した。報告会では2週間の旅の体験や印象を生徒、引率の先生たちが語り、日本の伝統文化として各地で大きな反響のあった能、七頭舞を披露した。



報告会で披露した能



60回迎えたスオミ・ミュージックステージ

ケアハウス・至誠ホームスオミ(錦町)の文化活動として5年間、1階ラウンジで毎月開かれてきた「スオミ・ミュージックステージ」が4月27日で第60回を迎えた。クラシックからポピュラー、民族音楽まで、幅広いアーティストを招いて地域にも親しまれてきた無料コンサート。60回目記念のプログラムは国内外のオーケストラと共演するなどソリストとして活躍する野口千代光さんのヴァイオリンと山崎明子さんのピアノで、名曲をたっぷり聴かせた。

この人この店 59

ゼルコバ

小野 理恵さん

HPを持たないゼルコバさん。それなのに今やネット上でも大人気。食通でおしゃれな方たちのブログにそのお名前を見かけます。ご両親の時代には薪と石釜でパンを焼いていました。今は工程に時間のかかる薪こそ使いませんが、国産小麦に天然酵母、ベトナム精製カンホアの塩を使い、野菜は自家製。パン作りのこだわりは変わりません。毎朝2時ころから始まるパン焼き。開店の10時に半分くらい、11時半には約20種類全部が店頭。西砂川街道沿いなのに、とても静かな空間です。庭はオープンテラスというより、まるで森の中のランチ。大きな木々に囲まれて、小さな草花ものびのびと花を咲かせ葉を繁らせています。どんな小さな命も大切にしているんですね。「田舎ですから」と飾らない優しい笑顔の理恵さん。パンにドリンク、野菜は季節ごとにアレンジされてテーブルに。癒されるって、こういう時間を言うんだらうな。



〒190-0034 立川市西砂町5-6-2  
TEL 042-560-4544  
営業時間 10:00~17:00  
定休日 火・水曜日



写真撮影：五来孝平

立川のお作法  
中野 豪清  
第11回

冠婚葬祭



挿画：綾 幸子

冠婚葬祭とは、人生の節目に行われる(通過儀礼)である。

冠とは男女が一人前になったことを意味する式で、昔からいろいろな形で行われてきた。元服という名称が最もよく知られている。古代社会の日本では、大人も子どもも露頂といって無帽。推古天皇の頃に中国大陸の影響を受け、大人は帽子をかぶる風習が始まった。そして奈良時代の頃から冠をつけることが儀式化され、これを冠礼または加冠式といった。元明天皇和銅7年6月25日に『皇太子加元服あり』と続日本紀に書かれてあり、元は頭(こうべ)で頭に冠を着す、あるいは初めて大人の衣服を着るということから、公家や貴族階級の間で成年式を元服と呼ぶようになった。形は違っても子どもが大人になった証(しるし)の儀礼で、現代では満20歳の成人式。近年は成人式には各地の荒れる成人式模様が伝えられ物議をかます。法的に選挙権をはじめいろいろな権利が与えられるが、同時に義務も負っていくのだということも忘れないでほしい。

婚とは結婚。人生最大の華麗な喜びの儀式である。男女の二人が夫婦の契りを結び一生の伴侶として助け合い、一家を築いていく。現代では神前結婚、キリスト教結婚、仏式結婚、家庭結婚、人前結婚などいろいろな形がある。かつては家と家が結ばれることであったが、最近では仲人も参加者も誰もいない二人だけの結婚式とか、旅行の途中で式を挙げるなど、多様な形態の結婚式が増えている。いずれにしても結婚したならば、最初に婚姻届を出すことだ。居住地を管轄する市区

町村役所に婚姻届を提出し、初めて結婚が成立し公的に認められたことになる。

葬とは葬儀、葬式、葬礼、葬送のこと。死者をほうむる儀式で、葬送は死者をほうむるの見送ることとされている。葬儀と宗教は深い関係があり、我が国では仏教、神道、キリスト教に大別される。葬儀に当たっては宗教宗派、地域などによって執り行い方に違いがある上、惜別の哀しい式であるから出席する側も注意が必要だ。

祭とはおまつり。先祖のおまつり。死者が祖霊神となり、そこから祖霊信仰が生まれ、祭はこの祖霊神を祭ることである。農耕民族であった我が国では、祭は集団的な民俗行事となった。氏族単位の血縁の神が氏神、そして町村落民の共通の信仰の対象が、地縁の神である産土神(うぶすながみ)。現在ではこの双方が同一視され、土地の鎮守神が即氏神様であり、住人は総て氏子と考えられている。祭はこうした神道的儀礼や行事のみならず、仏教的要素をも併合して生活に溶けこみ、元旦、3月3日、5月5日、7月7日、9月9日のように月と日が同じ数の五節句の行事や、春分、秋分の日のお祭りや先祖霊の供養など、四季折々に行う年中行事となっている。1年の行事を月を追って記したものに歳時記がある。人として生まれれば、親を始め大勢の人に慈しまれて成人し、社会との関わりの中で生きて行く。冠婚葬祭は一生の通過儀礼であり、やはり知っておくべき事柄である。

表紙の人

弾 真空さん(泉町)

虚無僧——近代明治に消えた禅宗の一派・普化宗の有髪の僧。天蓋と呼ぶ深編笠をかぶって袈裟をつけ尺八を吹き喜捨を請いながら諸国を行脚した。自らの音楽遍歴の中で普化宗尺八に出会い「一音成仏」のあり方を現代に生きる音楽とすべく活動している。日本各地で竹を探し八王子市上恩方の工房で尺八を作る。忘れられた古典曲を復活・再創造して演奏する他、創作曲、現代音楽とのライブ共演なども積極的に行う。雨の降る中、戸外で演奏していただくと、いにしへの虚無僧がよみがえったよう。

国営昭和記念公園で 写真：細江英公

かたこと

今月号もまずお詫びです。5月号「表紙の人」宮崎紫光さんは毎日書道会総務でした。お詫びして訂正します▼本号がお手もとに届く頃は、花ならばウツギ、アジサイ、カキツバタ。梅の実も膨らんできているでしょうか▼梅の熟す頃の雨だから梅雨。枇杷の実やラッキョウも太ります。柿は盛大につけた青い実が道に散り落ちています▼梅雨どきの雨は、成熟も天折も共に尊く包み込んで降るようです▼VIEWは画家を目指し19歳で亡くなった奥井理さんの画文集出版。彼が生きた19年は今も絵の中に、文に、人々の記憶に輝いています▼理さんの生きたあかしを大切にされているご両親、そしてそれに共感した学校関係者や多くの人の心が画文集や展覧会につながりました▼対談は88歳の現役大学院生、原田義道さん。76歳から夜間中学、高校、大学、大学院に▼学びたいという意欲は年齢ではない。編集者も、新しいことに挑戦する意欲が衰えているかな? という反省を込めてつくづくそう思います▼うとうとう思う雨ですが、かといってカラ梅雨ではやはり困ります。夏に向かう日の光が草木に力を与え、地をうるおす雨はその根と幹を慈しむ——えくてびあんも、ちょっとでもそういうものでありたいと思います。(芳)

スタッフ

編集 大久保清志/清水恵美子/中薫子  
デザイン 池田隆男(WATER DESIGN ASSOCIATES)  
AMNET design factory  
写真 小林達実/五来孝平

えくてびあん (C) 6月号

第26巻 通巻283号  
平成20年6月1日発行  
発行 えくてびあん編集工房  
〒190-0012  
東京都立川市曙町2-17-5 杉田ビル3F  
TEL 042-528-0082 FAX 042-528-0065  
編集人 芳賀敏博  
発行人 黒須 環  
印刷 (株)大廣社

無断転載を禁じます。







# おうちでおいしい 和風だし

⑤ 指導 三上康子 (三上鯉節店)

少し汗ばむ季節には、角切り野菜のさっぱりスープ。  
野菜の色がこころ豊かにしてくれる。  
油分がないのに、コックリした味わい。だしはほんとに奥が深い。

## 【ほたての コロコロスープ】

干し貝柱から出るだしは、それだけで(ごちそう)。複雑、でもすっきりした貝の味。大根やズッキーニは貝の味をそのままに、美しくスープを彩ってくれる。水に戻した貝柱もそのまま入れて具材にする。温かくても冷たくてもおいしいぜいたくな一品。

ほたて貝柱

そら豆のバスタ

